

第2回 電気・電子・情報系専門部会 幹事・編集委員会議事録

2007年9月29日(土)

12:00～13:30 総合大東京校4号館2F J-217室

【議題】

1. 部会長挨拶（工藤部会長）

- ・3日間、お疲れ様でした。東京校の会員のご尽力により、無事今大会も終わりそうです。
- ・実践教育研究協会の会長が、大竹 勉 理事（長野工科短大校長）に代わります。
- ・実践研は、そもそも機械、電子、建築系が独立して立ち上がって来たため、新会長には、あまり負担が掛からないと思う。その分、各部会が責任を持って部会を進めなければならない。
- ・来年は、改選期であるため忙しさも増すと思われる。
- ・来年の研究発表会は、四国能開大に内定しているが、遠方でもあるので交通費の負担を少なくするためにも、日程を早めに連絡したい。
- ・開催校が困らないように近くの会員は協力して貰いたい。また、開催校での会員が少ないので、会員でない方にも刺激を与えられるような開催にしたい。

2. 新幹事、編集委員紹介（昨年に続きジャーナル誌での紹介を行う）

- ・編集委員の中井 一広 氏（近畿能開大）が定年退職したことにより、新編集委員に同じ近畿能開大の松葉 孝治 氏に交代する。

3. 各員会報告

① 編集委員会（生方 副編集委員長）

- ・ジャーナルは、12月中旬にまとめた。
- ・大会の紹介は、東京校の校長に、また各セクションのまとめは、ページの半分程度にする。
- ・12月中旬に印刷業者の原稿を入れた。
- ・前回は広告が2社であったが、広告を掲載して頂けるような会社は教えて欲しい。
- ・進行予定 10月初旬くらいまでに執筆依頼文発送。（生方副編集委員長）
 - 10月初旬くらいまでに依頼する。（佐藤副編集委員長）
 - 12月初旬原稿締め切り。
 - 12月中旬 データを確認後編集長に転送。
 - 12月下旬 入稿
 - 1月中旬 初稿
 - 1月下旬 校正
 - 2月上旬 最終校入稿
 - 2月中旬 完成

② 広報委員会（中谷 HP担当常任幹事）

- ・実践研全体の広報委員長は、有田 浩之 理事（総合大東京校 機械系）
- ・ニュース編集担当・・・機械系：田中 電子系：中谷 建築系：和田
HP担当・・・機械系：有田 電子系：小玉 建築系：新島
広報委員会連絡員・・・機械系：小田切、出来 電子系：玉井、佐藤(崇) 建築系：新島、小笠原
- ・ニュースの秋号は、11月20日UPしたい。冬号は2月20日の予定。
- ・ニュース記事の各担当
 - シンポジウムⅠ：大久保、シンポジウムⅡ：滝本
 - 特別企画：中谷、大会の写真を取っている方は、中谷まで送って欲しい。
- ・冬号（2008/2/20発行）は、特別講演など秋号に掲載できなかった分を掲載する。
- ・春号（2008/5/20発行）は、ポリテクニクビジョンを予定。
- ・夏号（2008/8/20発行）は、四国大会特集を予定。
- ・実践協会 Web サーバを変更

- 容量不足: 現行の 300MB から 1 GB、これよりライトからスタンダードへ変更予定。
- ・ Web の掲示板が荒らされている。 → 掲示板を閉鎖する。
- ・ Web 上での間違いに気づいたら、中谷、玉井まで連絡して下さい。

4. 今後の実践研究会活動について

- ・ 9 月の大会より夏休みに実施できないのか。会員にアンケートを取ってもよいのではないか。
 - 他系は、施設によって状況が違う。センターは、夏休み期間は基本的に関係ない状況である。しかし、センターの会員を増やす仕組みを考え検討したい。
 - 7 月は、体育館での企業展示が難しい。
 - 7 月は年度会計の締めではないが、年度会計の締めは、変更すればよい。
 - 9 月は、企業の年度会計の締めでもあり、2~3 社の企業から忙しいとの意見があった。
- ・ H19 年度の繰越予算が 800 万円超過であるため、各専門部会の予算を増額してはどうか。
(機械系: 145、電子系: 125、建築系: 85) 増額によって、分科会の予算も UP できる。
 - 特別会計の繰越予算が多いのは、事務局が代わって予算の見通しが良くなったから。有効利用が出来るよう検討して活きたい。

5. 新規分科会の発足に向けて(電気系、情報系はどうか)

- ・ 現在、実装技術研究分科会、組込みシステム分科会の 2 分科会があるがさらに分科会を増やすことを検討してはどうか。
例えば、電気系要素→電力変換技術の分科会、情報系の技術要素を中心とした分科会など。

6. 次年度新規理事、幹事、編集委員、事務局体制について

- ・ 次期事務局は、総合大東京校の川守田先生を中心に事務局体制を考えている。
- ・ 今回、東海能開大からの参加者が多かったので、会員募集及び今後の事務局体制も検討して貰いたい。
- ・ 次期の役員改選でも、核になる人は残って欲しい。

7. その他

- ・ ポリテクニクビジョンと連携して開催したため、観客が多く、いつもの観客の心配がなくよかった。
- ・ 来年の四国大会は、電子系の会員が少ないため、中国能開大の手助けが必要と思われる。
- ・ 物産展などの売上が思わしくなく、売上の協力して貰いたい。
- ・ ハノイの塔など開発課題や総合制作の発表があるので、時間のある方は、会議後の見学をお願いします。
- ・ 組込みシステム分科会の今後の活動方針について(大久保)
 - 来年、2 つのセッションが持てるよう努力したい。
 - 分科会が教材を購入して何らかのターゲットを決めて、1 つのセッションを行いたい。
 - 分科会は、メーリングリストや Web 会議を活用して、予算を出来るだけ教材提供に使い、分科会会員の募集と普及に努めて活きたい。

幹事会

8. 実践研究会の活性化に向けた取り組み
9. 今年度の分科会活動計画(予定)各科分科会事務局より
10. その他

編集委員会

10. 2007 年の活動予定
11. 実践ジャーナル編集活動予定
12. その他